

## 「小学生オンライン交流会」実施報告

### 1 交流会実施内容

- ・開催日

令和5年7月24日（月）9：30～11：30

- ・開催方法

各学校間と市役所とのオンライン開催

- ・目的

青梅市の将来を担う子どもたちが、それぞれのテーマについて他校との意見交換・交流を通じて、市政運営に対し、興味・関心をもってもらうとともに、子どもたちの声を市政運営に反映させることを目的とする。

- ・実施概要

グループ毎の意見交換および市（市長・教育長）への発表

- ・テーマ

①「みんなが通いやすい、より良い学校にするために」

②「みんなが住みやすい、より良いまちにするために」

(1)ゼロカーボンシティに向けた取組

(2)子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり

### 2 テーマ「子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」における主な御意見

（設問1）子どもやお年寄り、からだが不自由な人など、すべての人がみんなを支え合い、安心して暮らしていくためには、どんなまちになっていると良いでしょうか。

（主な意見）

- ・近所のお年寄りや子ども、体が不自由な人たちとコミュニケーションが多く取れ、困っている時に助け合え、どんな場所に行っても大変な思いをしないようなまちが良い。
- ・バリアフリーが多く、みんなが行動しやすいまち。
- ・お年寄りや体が不自由な方にやさしいまち。

- ・運動会の時に地域の方々が応援に来てくれるまち。
- ・こどもが安全にすごせるまち。
- ・年齢関係なく誰にでもあいさつができる。みんなが仲良くなるまち。
- ・楽しくたすけあいをするまち。ささえあうまち。
- ・障がい者や高齢者がすみやすいまち。犯罪のないまち。
- ・高齢化社会なので少しでも多く1人の高齢者を支える人数を増やす。でも、一番必要なのは人々の協力。普段から関係をつくっておかないと何かあったときに協力できない。
- ・市民がこまっているときに支え合うまち。きがるに話しかけられるまち。
- ・男女、年齢、身体等の差別をしない。困ったことがあったら相談できる場所や頼れる人がいる。

（設問2）このようなまちにするためには、どんなことをすれば良いでしょうか。あなたができること、みんなでやること、市が行ったら良いことなど何でも書いてみましょう。

（主な意見）

- ・近所の人で声かけをするように呼びかけたり、公共の場所や駅にエレベーターやスロープをつけるようにする。
- ・青梅市は坂が多いので、道に手すりを付ける。段差を少なくし、バリアフリー化やユニバーサルデザインを進める。
- ・地域の年配の方々がこどもたちの通学の安全をみまもり、あいさつをしたり、会話をしたりすることで、こどもたちも年配の方々の見守りにつなげていきたい。
- ・あいさつをする。あいさつをすすめる看板をつくる。ポスターをはる。
- ・歩いているときや誰かに会った時など常日頃からあいさつをする。まずは身近なところから広めていく。自分たちが続けていく。
- ・みんながたすけあい人々をささえあう。ひとりひとりが心がける。
- ・交流できる場所を増やす。交流する機会を増やす。高齢者のボランティアを増やす。
- ・こどもも大人も一緒に遊べるひろばをつくる。スポーツができる場所が良い。
- ・全世代が共通したものをつくる。